

『迷う』 作：ポチ子

『迷う』 作：ポチ子

会社に行こうか、

死のうか、

一応迷う。

選ぶ方は決まっているのだけど、

一応は一応、迷ってみる。

それが私の毎朝の習慣。

答えを考えながら、

歯を磨いて、

化粧をして。

答えも出ぬうちに、

家を出る時間になる。

明日の朝は、

いつもとは違う方を選ぶぞって、

そう決意しているのだけれど。

気づけば、また次の日の朝だ。

習慣は中々やめられないって言う。

あれは本当だな、なんて。